

第9回 西宮市総合計画審議会 議事概要

開催日時	平成30年12月27日（木）15時00分～15時30分
開催場所	西宮市職員会館 3階 大ホール
出席者	新川委員、藤田委員、川東委員、椿本委員、樋口委員、古塚委員、水田委員 根岸委員、石田委員、小野委員、藤井委員、徳久委員、水谷委員
欠席者	安東委員、羽田委員、平野委員、岡委員、加藤委員、客野委員、倉石委員
事務局	田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、四條政策推進課長、 岩田政策総括室参事
傍聴者	なし
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 答申（案）について 3. 第5次西宮市総合計画 基本構想（原案）及び基本計画（原案）について （答申） 4. その他 5. 閉会
資料	<p>【資料1】 答申書（案）</p> <p>【資料1-1】 （別添）その他意見</p> <p>【資料2】 答申（案）にかかる新旧対照</p> <p>・ 第7～8回審議会議事概要（確定版）※当日配布</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長あいさつ、資料確認 ・ 半数以上の委員出席を得て本会議が成立していることを確認
	<p>2. 答申（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答申案について説明をお願いします。 ・ 資料説明
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の案に修正を加えた本日の最終案についてご確認いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修正箇所等について質問があればお願いします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2の、新の正は「交通の利便さ」となっており、旧は「交通の利便さ」となっているが、反対ではないか。答申案は「交通の利便さ」となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4ページの「保育士の確保」は、答申書の案では「保育士確保」となっており「の」が抜けている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局、今のところを確認していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘の通り「の」が抜けているので調整する。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の答申書では1ページの（5）市民の意識、2行目、「交通の利便さ」となっているが、新旧対照表では新旧が入れ違いではないか、という指摘であった。答申書のほうが正しいのではないか、という指摘をいただいた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘のとおり、説明資料の新旧が入れ替わっており、答申書の修正が正しい記述である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4ページは「保育士の確保」が新（正）であるが、答申書では「保育士確保」となっており「の」が入る。「保育士確保」でも意味は通るが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原文は「保育士確保」であるので、答申案が正しく、資料2の「の」が入っている方が間違っている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局で調整した答申（案）を、私どもの答申として決定させていただきたい。別添その他意見の資料1－1はこれまで審議会でもいただいた意見であり、合わせて私どもの意見としたい。 ・ これらを私どもの答申等としてよろしいか。
	<p>（異議無し）</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議無しの声、多数とまとめさせていただき、当審議会における答申書が決定された。 ・ 委員の皆様には、長い時間にわたり、慎重にまた熱心に意見をいただいた。部会でも活発な意見をいただき、本当に頭の下がる思いである。従来の本市の審議会、総合計画等の検討の仕方と少し違ったところがあり、いろいろと意見があいまった途中経過もあったが、最終、私どもの意見をまとめられたことについて、委員の皆様の協力に感謝を申し上げる。

<p>会長</p>	<p>3. 第5次西宮市総合計画 基本構想（原案）及び基本計画（原案）について（答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> 答申書、「平成30年12月27日、西宮市長 石井 登志郎様、西宮市総合計画審議会 会長 新川達郎。第5次西宮市総合計画 基本構想（原案）及び基本計画（原案）について（答申）。・・・《中略》・・・本計画がより市民に分かりやすいものとなるよう、表記、記述について改めて検討されたい。以上。」
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注文がましいことばかりだが、しっかり受け止めていただければ、ありがたく思う。よろしく願います。 長期にわたっての審議、感謝申し上げる。答申をしっかりと受け止めて、計画を進めてまいりたい。
<p>市長</p>	<p>（市長あいさつ）</p> <ul style="list-style-type: none"> みなさま、長い期間にわたる審議について感謝申し上げます。 本年2月から審議会が始まり、私は4月15日に市長に就任して以降、第3回審議会から出席させていただいた。その時に、大きな方向性として、市民の代表である皆様方と、私自身の考える方向性が全く違うということはないので、引き続きお願いすると申し上げました。 いくつか加えさせていただいた部分もあるが、基本的には審議会の皆様方の審議に委ね、西宮の将来について思いをはせつつ、事務局から報告を受けながらやってきた。 今日も、細部にわたって意見をいただいたことを目の当たりにするに付け、皆様方がエネルギーを費やしていただき、答申を仕上げさせていただいたことを改めて実感する。 7月、8月の広聴会で感じたのは、この答申書にあるように、広い西宮を一つの串に刺すことが必要であると同時に、北部地域と南部地域など、それぞれの地域課題が違うということである。今回、地域毎の将来の見込みなど課題を分けて書いたことは、大きなことである。全部が全部に当てはまる施策ばかりではなく、人口減少に直面する地域もあれば、まだまだ人口が増えて大変な地域もあるので、きめ細やかに、西宮が憩いと安住の文教住宅都市として極められるよう、計画をしっかりと進めることが私たちに課せられた使命であると思っている。 あらためて、長期にわたり皆様方に審議いただいたことに感謝申し上げ、まとめていただいたものをもって3月の議会に諮り、来年度4月から、10年間の計画を進めて参りたい。以上をもって、感謝と答申を受けさせていただいたことの挨拶としたい。ありがとうございました。
<p>会長 事務局</p>	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 答申後のスケジュール等について説明をお願いします。 資料説明

会長

- ・ 審議会の意見を踏まえて、計画案の最終調整をしていただき、来年3月の本市市議会で、議決をいただくという順番になっている。その後HP等により公表され、計画冊子として来年の秋以降に完成し、お手元に届けさせていただくという予定である。本審議会は、今日の段階で役割を遂げたと思っている。今後の進め方等について、意見、質問があればお願いします。

(意見無し)

5. 閉会

- ・ 来年3月に本総合計画を策定し、4月以降は本市の新しい計画に基づいたまちづくりが進んでいくことになるので、しっかりと運用していただきたい。計画書は来年秋以降に届けられるという予定なので、よろしく願いたい。本日子定していた議事はこれで終了とさせていただきたい。
- ・ 大変な苦勞を一緒にしていただいた皆様と、いったんお別れしなければならないということで心の残る所もあるが、大きな仕事をやり終えたという喜び、満足感をもってここで審議会を閉じたい。
- ・ 本審議会は、西宮市の総合計画として、これから10年間の本市の新たなまちづくりに向けた重要な目標と、そのための主要な手段、そのための工程表を一定程度作っていくということになった。委員の皆様から各分野に渡ってさまざまな意見をいただき、答申をまとめさせていただいた。西宮を考えようとする積極的な市民としてのあり方が、次の計画を支える重要な精神になっていくのではないかとと思っている。こうした市民の方々の関わる計画づくり、自らの市民的な責任をしっかりと果たしていこうとする皆様の気持ちが、ここでの方針のとりまとめに結実しているのではないかとと思っている。こうした成果を出していくことができたことが私自身の大きな喜びであり、改めて皆様の尽力に感服している。
- ・ これからの課題は、知恵を傾けた計画をしっかりと受け止め、具体的な西宮のこれからのまちづくりに生かせるかにかかっている。市長を始めとする各執行機関の方々、議会の責任は重いということを一言申し上げておきたい。ただし、この総合計画を市民のための計画とするには、私たち関係者、市民の力、努力が必要であり、この計画の理念や方向に向けて、それぞれの立場からの尽力がなければ、より良い西宮のまちづくりには結びつかないと考えている。
- ・ この審議会に関わった皆様方それぞれの場から周りに、方々に向けて、また広く市民に向けて、この計画の意義や、実現に向けての実践が広がっていけばと思っている。私ども専門家として入らせていただいたものの中には、日常的に西宮に関わり続けることができないこともあるが、熱烈な関心を持って、市のまちづくりを進めていきたいと思っており、応援したいと考えている。そういう熱い気持ちを市長はじめ、市当局の皆様は受け止めて、西宮の未来のまちづくりを進めていただきたい。

- | | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 皆様方のおかげで、ここまでたどり着くことができた。長い期間にわたり審議をいただき改めて感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。そしてお疲れ様でした。・ 本日は以上とさせていただきます。 |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

以 上